

「ゆるし合える関係」
「人格を尊重する」
「他者のための平和」
「孤独は耐えられる。孤立は耐えられない。」

「いつでも、学校と保護者の中心に子ども達を。」

PTA 委員会での保護者へ
向けた校長先生、教頭先生
の“ことば”です。

聖書からの話。

子育ての先輩お母さんとして、
人生の先輩としての
アドバイス。

親として、ひとりの人として
の学びの場があります。

「真の平和をつくる」

とは何だろう。

卒業した長女も交え家族で
話ができる。人生において
の深みを与えてくださった
小学校に感謝します。

PTA 会長 谷口 由希子



3月

学習発表会



小学校で卒業論文がある平和学園。テーマ選びは、今の自分自身を見つけるきっかけにもなっているようです。マイク片手に「自分の世界」を堂々と発表する姿に、6年間の成長を感じます。



4月

プレイデー



新1年生とご家族を歓迎する日。卒業生も招待され、在校生とその家族、先生方が一緒にスポーツを楽しみ、食事をともにします。卒業してから何年経っても、学校は帰れる故郷。そんな温かく迎えてくれる故郷がある子どもたちが羨ましい！

12月



クリスマス礼拝

3年生はページェントという大切な役割を与えられます。2年生になると、先輩が演じる姿に憧れを抱くようです。2学期から目標に向かって練習するのでページェント当日には親もすっかり歌を覚えてしまうほどに。学園が心一つに祈る日となります。

平和学園小学校の行事紹介

「様々な行事を通して、たくさんの経験を積んで、そのすべてが豊かな心を育みます。」 卒業生保護者

平和学園小学校にはたくさんの行事があります。

普段の学習と行事が絡み合って、子どもたちの頭と心と体が豊かに成長します。木の根のように見えないけれど、しっかりと子どもに根付き、糧となり実を結んでいるのを振り返って実感しています。ぜひ、小学校を見に来てください！学校のホームページでも、日常の様子や行事を紹介しています。そちらもご覧下さい。

PTA 広報委員会

バザー

子どもたちも大好きなバザー♪ 学校のために。子どものために。災害で困っている人のために。貧しい国の人のために。保護者が中心となって、奉仕の心で、楽しく活動します。保護者同士の絆が深まる大切な行事です。



11月

運動会 & 学芸会

運動会と学芸会は仲間と力を合わせて創り出し、自分の力や自分らしさを発揮する行事。1年おきに交互に行われます。今年は学芸会の年です。



10月

9月



平和をともに

平和を作り出す人になれるよう各学年自分の考えを深め、平和を願い、祈りを発表します。その姿に保護者も平和について考えさせられる二日間です。

自然教室

縦割りのグループで過ごします。上級生が兄弟のように下級生の面倒をみてくれます。「慕う喜び」「慕われる喜び」を感じながら学び、ぐっと成長して帰ってきます。



5月



感謝の日礼拝

感謝の気持ちを伝える日。一人ひとりの「ありがとう」の気持ちを全員で共有。普段はなかなか聞けない子どもからの感謝の気持ちにじーんと心が温くなる1日です。

6月



修学旅行

3泊4日の沖縄旅行。沖縄戦という深く重いテーマに、心を痛めながら向き合います。沖縄の美しい自然に癒されながら、戦争と平和について考えを深めます。



平和学園へようこそ！

平和学園に通わせていただいている保護者一同として、この学校のよさをもっと知っていただきたいと思い、今回、在校生・卒業生の保護者の方々のクチコミを集めてみました。

是非ご覧ください！

P T A 広報委員会一同

一人ひとりの心を大切に育てて下さいます。6年間一クラスの良さは、クラスみんなで喜びも失敗も共有して成長していくことができるところです。様々な行事を通して、たくさんの経験を積んで、そのすべてが豊かな心を育みます。

2012年度 卒業生保護者

私が思う平和学園の魅力は、少人数教育やカリキュラムはもちろん、個性を大切にしてくれる所・先生方の温かい眼差し・教育熱心で学園行事にも積極的に参加される保護者の方々・・・たくさんあります。この学園を通じて、私自身も親として成長させていただくことができることを感じています。これからも親子で成長できるのを楽しみに学校生活を一緒に楽しんでいこうと思っています。

2014年度入学 現1年保護者



6年間かけて、先生方はもちろん、友達からも自分の存在をじっくり認められるので、自信がつき、自己肯定の気持ちがいっかりと確かに育ちます。毎日の生活の中で、お互いの個性を長所として認め合うことができるようになります。中学・高校に行っても、友達を大切に作る心が自然と身についています。

2008年度卒業生 保護者

「平和をつくり出す」こと。それを一番に求めて、実践できるようになれば、どんなに豊かな人生を送れるだろうか。と建学の精神に賛同し平和学園を選びました。娘の学校生活の様子を見てみると、楽しいこと、嬉しいこともたくさんあれば、思うようにいかないこと、苦しいこと、辛いことにもぶつかっています。ひとつひとつ悩み、解決法を見出しながら、成長しているようです。

最近、親が子どもの心の奥まで入りこめず、子どもの心にも親の助言がずっと届かなくなる感覚を受けることが増えてきました。それは、自分で考え、自分のやり方で問題を解決しようとする成長の現れのように感じます。そんな中、娘はひとつの壁にぶつかりました。親として解決となる助言もできずにいました。けれど聖書の言葉から解決を導けたと娘が話してくれました。

神様と自分の関係の中で、もっともよい方法を選び、実践して平和的に解決できたことは、「これさえあれば、この先、何が起きても大丈夫！」という人生の宝物のように思い、娘の心の成長をととても嬉しく、頼もしく感じました。毎日の先生や友達との関わりの中で、礼拝の中で、聖書、讃美歌、お祈りを通して身につけられたことと感謝しています。

2012年入学 現3年保護者

学力だけでなく、毎日の礼拝や聖書から大切な心を育み育てる学校です。何と云っても、縦割りの魅力があります。各学年それぞれに、学校生活において役割を果たすカリキュラムがしっかりとあります。一つ上の学年になることをこんなに楽しみに迎えることができる学校は他にないと思います。

2013年度 卒業生保護者



入学後すぐ、登校に付き添っていると「おはよう！〇〇くん」と上級生が声をかけてくれました。名前をもう憶えてくれている嬉しさと、上級生が下級生の面倒をよくみってくれる事に感動し、平和学園小学校の温かさを感じました。あっという間に学校生活に慣れ、平和っ子になり、1学期の最後に【ママ、へいわがくえんにかよわせてくれてありがとう】と書いた手紙を渡してくれました。

2014年度入学 現1年保護者

